

理工学部の学位授与の方針 (Diploma Policy : DP)

理工学部の各学科では、次の要件をすべて満たし、かつ本方針を踏まえて作成された各学科の教育課程において所定の単位を取得した者に対して、「学士(理工学)」、もしくは「学士(工学)」の学位を授与する。

<大学共通>

【教養の修得】

(DP1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関して、それぞれの分野の基本的な概念と基礎となる思考方法を理解し、人間社会の諸問題を多角的に把握するための論理的かつ総合的な思考力を身に付けている。

【課題の発見と解決】

(DP2) 社会の諸問題を理解するために必要な情報(日本語または英語で書かれた文献、統計等を含む)を調査収集し、本質的な課題を発見・解決するために、調査収集した情報を的確に分析する能力(語学力に裏打ちされた読解力を含む)を身に付けている。

【他者との協働】

(DP3) 多様な文化、環境、状況のもとで、多様な価値観を理解し他者を思いやり、他者の意思や感情を的確に理解して意思の疎通を行うコミュニケーション力(語学力を含む)と協調性を身に付けている。

【自発性、積極性】

(DP4) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。

【表現力、発信力】

(DP5) 自己の世界観、人生観を確立し、それに基づく自己の意見を、外に向けて発信できる豊かな表現力を身に付けている。

<物質生命理工学科>

基礎科目から専門科目までを系統的に学ぶことにより、次に掲げる能力を有するとともに、これらの学修を通じて「計画力」、「実行力」、「問題解決力」及び「発表力」を身につけた学生に、学士(理工学)の学位を授与する。

【幅広い教養と社会性・国際性】

(DP6) 全学共通科目(成蹊教養カリキュラム)及び理工学部共通科目の学修を通じて、幅広い教養と社会性・国際性を身に付けている。

【実践的な科学技術スキル】

(DP7) 基礎的な計算手法やコンピュータリテラシー、安全管理等の学修を通じて、科学技術者の基礎と社会での実践的スキルを身に付けている。

【基礎的な知識】

(DP8) 科学の基礎となる数学、物理、化学、生物及び理学基礎実験の学修を通じて、理工学全般への理解を深め、科学技術に対する多面的な視点や柔軟な科学センスを身につけている。

【専門的な知識と実践】

(DP9) 物質生命理工学科として必要とする基礎的な知識と技法を身につけるとともに、テーマを絞ったより専門性の高い分野を体系的に学修することにより、社会での実践的知識を身につけている。

【課題発見とプレゼンテーション】

(DP10) 各年次に配当された実験科目及び輪講、卒業研究への取組を通じて、知識基盤社会の進展に貢献しうる科学技術力、課題を発見し解決する能力、プレゼンテーション能力を身につけている。

<情報科学科>

基礎科目から専門科目までを系統的に学ぶことにより、次に掲げる能力を有するとともに、これらの学修を通じて幅広い教養、プログラミングに関する知識と技法及び情報科学分野の専門知識を身

につけた学生に、学士(理工学)の学位を授与する。

【幅広い教養と社会性・国際性】

(DP6) 成蹊教養カリキュラム及び理工学部共通科目の学修を通じて、幅広い教養と社会性・国際性を身に付けている。

【実践的な科学技術スキル】

(DP7) コンピュータ技術、技術者倫理、関係法規等の学修を通じて、科学技術者の基礎と社会での実践的スキルを身に付けている。

【基礎的な知識】

(DP8) 科学の基礎となる数学、物理、化学、生物及び理学基礎実験の学修を通じて、理工学全般への理解を深め、科学技術に対する多面的な視点や柔軟な科学センスを身につけている。

【専門的な知識と実践】

(DP9) 情報科学科として必要とする基礎的な知識と技法を身につけるとともに、テーマを絞ったより専門性の高い分野を体系的に学修することにより、社会での実践的知識を身につけている。

【課題発見とプレゼンテーション】

(DP10) 各年次に配当された実験科目及び輪講、卒業研究への取組を通じて、知識基盤社会の進展に貢献しうる科学技術力、課題を発見し解決する能力、プレゼンテーション能力を身につけている。

<システムデザイン学科>

基礎科目から専門科目までを系統的に学ぶことにより、次に掲げる能力を有するとともに、これらの学修を通じて工学的手法に基づく高い「問題解決能力(実社会に溢れる解答が一つでない問題に対し解決策を自ら立案し、かつ、それを実現する能力)」を身につけた学生に、学士(工学)の学位を授与する。

【幅広い教養と社会性・国際性】

(DP6) 成蹊教養カリキュラム及び理工学部共通科目の学修を通じて、幅広い教養と社会性・国際性を身に付けている。

【実践的な科学技術スキル】

(DP7) コンピュータ技術、技術者倫理、関係法規等の学修を通じて、科学技術者の基礎と社会での実践的スキルを身に付けている。

【基礎的な知識】

(DP8) 科学の基礎となる数学、物理、化学、生物及び理学基礎実験の学修を通じて、理工学全般への理解を深め、科学技術に対する多面的な視点や柔軟な科学センスを身につけている。

【専門的な知識と実践】

(DP9) システムデザイン学科として必要とする基礎的な知識と技法を身につけるとともに、テーマを絞ったより専門性の高い分野を体系的に学修することにより、社会での実践的知識を身につけている。

【課題発見とプレゼンテーション】

(DP10) プロジェクト型科目、輪講及び卒業研究への取組を通じて、知識基盤社会の進展に貢献しうる科学技術力、課題を発見し解決する能力、プレゼンテーション能力を身につけている。